

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	頭頸部粘膜悪性黒色腫に対する重粒子線治療後の維持療法としてのICIの意義
	研究目的	頭頸部粘膜悪性黒色腫は、頭頸部癌の中で特に致死的な癌のひとつとされています。手術を受けた患者さんにおいても5年後に生存されている割合は25-46%と予後は良好とは言えません。重粒子線治療は手術ができない患者さんを対象に開発されてきた治療技術です。照射した場所が治る割合は7割程度と比較的良好ですが、その後の遠隔転移（他の臓器への転移）の出現により予後は芳しくありません。近年、様々な悪性腫瘍に対する免疫チェックポイント阻害剤（ICI）による治療成績が報告されてきていますが、頭頸部粘膜悪性黒色腫に対してICIを用いた維持療法（重粒子線治療後の追加治療）について議論はほとんどありません。この研究は当院で重粒子線治療を行なった頭頸部粘膜悪性黒色腫の患者さんに対するICIの有効性、安全性、QOL、費用対効果の評価を行い、ICIによる維持療法の意義を検討することが目的になります。
	研究対象者	2017年5月から2022年9月に当センター放射線治療科にて重粒子線治療を受けた頭頸部粘膜悪性黒色腫の患者さん。
	研究期間	西暦 2023 年 7 月 31 日 ~ 西暦 2024 年 6 月 30 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 放射線治療に関するデータ
試料・情報の管理について の責任者	当センター研究責任者	溝口 信貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	共同研究機関はありません
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・放射線治療科・溝口信貴・TEL 045-520-2222 利用停止のお申し出は2023年12月31日までお願いいたします